

case no.49

兵庫県繊維品小売商業組合 兵庫県繊維品仕入事業協同組合

中央会活路開拓事業を活用し、SNSを活用した情報発信の勉強会などを実施

company profile

創立：1962年（昭和37年8月） 事業内容：共同購買・共同販売事業

1. 情報発信にソーシャルメディアの必要性を痛感
2. まずは、顧客とのコミュニケーション力UPへ
3. 今後も新たなチャレンジで、販路拡大や業界発展へつなげたい！

ザクッと言うと **3** ポイント

連携組織活路開拓調査実現化事業を活用した経緯は？

組合運営に役立つ補助事業を探していたところ、兵庫県の神戸サービスセンターを通じて中央会様の支援施策を知りました。
組合内でもソーシャルメディアの活用が課題となっていたため、専門家による講師派遣等は、時流にマッチした支援だと感じお願いすることにしました。



理事長の奈良山様を訪問



ソーシャルメディアの活用方法など
質問にはすべて笑顔で答えて頂きました。

ソーシャルメディアへの取組み、苦労した点はありましたか？

当初は組合員にとって、「SNSはハードルの高いもの」という思い込みも少なからずあり、意識を変えることに苦労しました。
「ソーシャルメディアとは？」というレベルから組合内のモデル店舗において研修会を行い、各店舗で独自に実践できるノウハウの構築に苦労しました。

中央会の担当者によるサポートは、いかがでしたか？

中央会の皆さまは常に民間と同じ目線で課題に向き合っていて頂いていると感じます。
これまで様々な補助事業のお世話になってきましたが、申請時の書類作成についてアドバイスを頂き、また報告会にもご参加下さいました。いつも私どもと寄り添って伴走していただい、当組合にとって心強いサポートでした。



中央会 中橋とのひとこま



店舗3階には情報発信専用
撮影ブースも完備

今回の事業を通じて、良かったことを教えてください。

モデル店舗をはじめ、ソーシャルメディアの活用に積極的に取り組む組合員が増えました。
その後も、より発展した研修会を行うことができ、厳しい繊維業界の販路拡大や、顧客とのコミュニケーション能力の向上に役立っています。
また、この事業をきっかけに、次の新しい展開が広がることに期待しています。

今後、同様の取り組みを検討される団体様へメッセージがあれば

現代社会において、ソーシャルメディア等の活用は情報発信・収集のための重要なツールであり、その活用に取り組まなければ時代に取残されることになります。
個人ではそのチャレンジに取り組むことが難しいですが、このような制度を利用して、組合全体で取り組むことにより新たな展開が生まれるのではないのでしょうか。
新たな取り組みにチャレンジする際は、専門家の意見や指導が大変頼りになります。
そのような際は、ぜひ中央会様へご相談されることをお勧めします。



店舗の皆さまと記念撮影。

最後に中央会へのご要望等ございませんか？

連携組織活路開拓調査実現化事業ではお世話になりました。今後も規模の違ういろいろな補助金事業などがあれば利用しやすいと思いますので、引き続き宜しくお願い致します。

—2025年3月

担当者からひとこと

兵庫県繊維品小売商業組合/兵庫県繊維品仕入事業協同組合様の取り組みは、組合の力を活かしたデジタル変革の好例と言えます。昭和30年代から続く伝統ある組合が、ソーシャルメディアに活用という新たな挑戦に前向きに取り組まれた姿勢は大変参考となりました。
「連携組織活路開拓調査実現化事業」を通じて実施されたSNS活用の勉強会は、個々の事業者では取り組みにくいデジタルスキルの向上を組合として後押しされており、モデル店舗を中心に組合員の積極的な参加が広がり、厳しい業界環境の中での販路拡大や顧客コミュニケーションの強化につながっていることは、今後の支援の参考とさせていただきます。



担当者：中橋